

報告書抄録

ふりがな	とくべつしせき とがりいしせつきじだいいせき そうかつほうこくしよ							
書名	特別史跡 尖石石器時代遺跡 総括報告書							
副書名	縄文社会のデザインがはじまったムラ							
編集機関	長野県茅野市教育委員会事務局 生涯学習部 文化財課							
所在地	〒 391-8501 長野県茅野市塚原二丁目 6 番 1 号 TEL 代表 0266 (72) 2101							
発行年月日	2022(令和4)年3月30日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東緯	調査	調査	特記
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° / "	° / "	期間	面積	事項
とがりいし 尖石 よすけおね 与助尾根	ながのけんちのしとよひら 長野県茅野市豊平 ひがしだけ 東嶽4734-3423 他	20214	87	36° 0' 36"	138° 6' 40"			
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
尖石 与助尾根	集落址	縄文時代 中期	縄文時代竪穴住居址 196・土坑 635・列石 1・独立土器 3・遺物集中区・平安時代竪穴住居址 1	縄文時代中期土器・石器・土偶・石製品・古墳時代土師器・平安時代土師器				
要約	<p>本書は、長野県茅野市豊平南大塩に所在する、国特別史跡尖石石器時代遺跡総括報告書である。尖石遺跡は、八ヶ岳西麓に位置する縄文時代中期の代表的な拠点集落である。</p> <p>調査歴は明治時代にさかのぼる地元でも著名な縄文時代の遺跡である。昭和4年以降地元教員の宮坂英弐がこの遺跡の調査研究に打ち込み、昭和15年から昭和17年の3ヶ年発掘調査を継続し、当時の考古学界で初めて「石器時代」集落の全容、特に竪穴住居址に囲まれた中央部広場の存在と、そこに展開する土坑や列石などの構造を具体的に発掘調査成果から示し、住居址群に囲まれた広場（社会的地区）を持つ縄文時代中期集落の姿をモデル化し提示した。この成果が結実し、昭和17年には中部高地を代表する「石器時代」の集落遺跡として国史蹟に指定された。</p> <p>また、昭和21年以降尖石遺跡北側に隣接する与助尾根遺跡の調査に取り組み、縄文時代中期後葉集落を発掘し、その成果に基づき多くの縄文時代中期の集落研究が展開されている。</p> <p>与助尾根遺跡の調査区は保存され複数軒の縄文時代中期後葉の竪穴住居上屋が復元され、史跡公園整備の先駆けとなっている。</p> <p>尖石遺跡は、昭和27年わが国を代表する縄文時代の集落遺跡として最初の国特別史跡に指定されている。</p> <p>本書は尖石遺跡と与助尾根遺跡の明治時代から昭和27年までの調査研究史と、平成2年度以降に行われた試掘調査成果を合わせて掲載している。</p>							

国特別史跡
尖石石器時代遺跡 総括報告書
—縄文社会のデザインがはじまったムラ—

発行日 令和4（2022）年3月30日
編集 茅野市教育委員会 文化財課
発行 茅野市教育委員会
長野県茅野市塚原二丁目6-1
（0266）72-2101（代）
印刷 株式会社 中央企画
長野県岡谷市川岸上1丁目1-20
（0266）21-7620（代）
